

放射能汚染で破綻は言い訳! 「安愚楽牧場」ずさんな自転車操業の実態

実業界

The Analytical Magazine for Economics
10 創刊60周年

毎月1日発売

昭和27年2月28日第三種郵便物認可
毎月1回1日発行 平成23年10月1日発行 第562号

2011

「大和証券G」

傘下2証券統合でも
変わらぬ窮地

■「ドコモ」VS「ソフトバンク」
泥沼化ではすまない
“接続料問題”

■ホテル御三家に明暗!
沈む「ニューオータニ」の
見えない成長戦略



当コラムの名にも使った「未病」というコトバは、近年数多く使われている。

私は、この未病という言葉で表現されるカラダの状態自体が、すでに立派な「病氣」という認識でいる。

心身ともにヒトが憂いを感じなければならぬ状況に寄り添い、訴える不調や、不快感（痛みなど）と長らく向き合い続けているが、通常の治療や投薬では、どうしても緩和できない症状と遭遇する頻度が、ここ数年で急増している。

不快感の原因も分からず、一時的に「お上げ」という状況に立たされるものの、患者さんに何とか救いの手を、と思い、様々な医療機器を当クリニックでは導入している。

不明の「痛み」に悩む患者さん向けに、かなりの治療効果を得られて

十 未病の憂い

歯科医が語る現代版養生訓

「未病」も病氣。「痛み緩和治療」のススメ

交感神経・副交感神経のバランスを心拍間の微細な変異から検知し、分析してくれる。結果、不調を訴える多くの患者さんが、自律神経のバランスを大きく崩し、痛みにかなり敏感になっておられることが分かった。「痛み」の症状緩和には、いわゆる「鎮痛剤」の処方も考えられるが、多くの患者さんは、すでに多種多量の痛み止めを服用しており、投薬による症状の緩和は期待薄。

そこで、「光照射」など「理学療法」の出番となる。

副作用のない「スーパーライザー」(光線治療器)で痛みの遠因となっている頸部(クビ)を刺激し、自律神経のバランスを整え、ヒトの恒常性(自然治癒力)に働きかける治療を進める。光の中で最も深達性の高い波長帯の近赤外線を高出力でスポット状に照射できるこの光線治療器。主に大病院のペインクリニック科麻酔科)や各科で効果を認められ、生体の自然治癒力に働きかける体にやさしい治療法として医療現場で注目を集めているもの。

私たちのクリニックでも、口腔心身症(歯や口腔内の不快感を訴える症状)の中でも、かみ合わせ異常に伴う頭痛、肩こり、舌痛症、口腔乾燥症、

顔面マヒなどに有効な治療法として効果を上げている。

不快感の原因も分からず、複数の歯科を転々とした後、当クリニックで痛みの緩和ができたことから、全国各地から、この痛みの緩和治療を受けにこられる皆さんが後を絶たない。

原因不明の口腔内トラブルは、今日「歯科心身症」や「口腔心身症」などと呼ばれていることは、これまでこのコラムでも何度か言及した。

前述した痛み緩和治療を受けた患者さんの多くは、当クリニックに来院されるまで、「病名」や「症状」を医師から告げられず、途方に暮れていたという方がほとんどだった。痛みの原因は、ストレスに起因する交感神経の「過緊張」であり、過度なストレスを処理できずご自身の歯やアゴに負担を与える「噛みしめ」と私は解明した。口腔内トラブル発生のメカニズムの詳細は、当ページにもある拙著「ストレスは見える！」すべては「噛みしめ」が原因だった」をお読み下さい。

亀井英志(かめいひでし)
1951年群馬県前橋市生まれ。76年東京歯科大学卒。都立病院歯科口腔外科医を経て、84年より長栄歯科クリニック院長。臨床ゲノム医療学会理事。



顎関節症
「噛みしめ」が原因だった

ストレスは見える！

すべては「噛みしめ」が原因だった

長栄歯科クリニック
亀井 英志
Kamei Hideshi

気がつくくと「歯を食いしばっている。…心当たりの方は、当コラムの亀井医師の著書『すべては「噛みしめ」が原因だった』をお読みいただきたい。「未病」の原因をまとめた良書です。

👉 コラム担当以外に こんな仲間がいる かかりつけクリニックです。



長栄歯科クリニック(草加インプラントセンター)

口腔外科・歯列矯正・インプラント・各種レーザー治療・障害者歯科外来・心療歯科外来
長栄歯科クリニック(草加インプラントセンター)
埼玉県草加市長栄町198 TEL 048-941-8331/FAX 048-941-2341
診療時間 am.10:00~pm.13:00/pm.14:30~20:30 休診日 水・日・祝日